

第213回 全経簿記検定試験 上級 一 会計学一

模範解答

模範解答・予想配点・解説等は、学校法人高橋学園が独自の見解によって作成しており、検定試験実施機関における本試験の解答並びに出題の意図を保証するものではありません。なお、予告なしにその内容を変更する場合がございます。ご理解いただいたうえで、ご利用ください。

問題 1 [予想配点：各④点，合計 40 点]

	正誤	理 由
1.	○	
2.	○	
3.	×	見積りの変更により将来キャッシュ・フローが増加する場合には、その時点の割引率、減少する場合には負債計上時の割引率により調整額を計算する。
4.	×	アップ・ストリームの場合の未実現損益は、親会社と非支配株主の持分比率に応じて、親会社の持分と非支配株主持分に配分する。
5.	×	繰延税金資産又は繰延税金負債の金額は、回収又は支払が見込まれる期の税率に基づいて計算する。
6.	×	当該場合に生ずるヘッジ手段に係る損益または評価差額は、ヘッジ対象に係る損益が認識されるまで引き続き繰り延べる。
7.	○	
8.	×	優先株式を発行している場合の1株当たり当期純利益算定上の当期純利益は優先配当額など普通株主に帰属しない金額を控除して算定する。
9.	○	
10.	○	

問題 2 [予想配点：合計 40 点]

問 1 [予想配点：各 2 点]

1	要求払	2	換金可能	3	価値の変動
4	短期投資	5	3 か月		

問 2 [予想配点：丸数字は点数を示す]

(1) 直接法

キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業収入	[② 480,000]
商品の〔仕入支出〕	[② △274,500]
人件費の支出	[② △ 41,600]
その他の営業支出	[② △ 14,500]
小 計	[149,400]
〔利息〕の受取額	[② 1,300]
〔利息〕の支払額	[② △ 1,800]
〔法人税等〕の支払額	[② △ 34,000]
営業活動によるキャッシュ・フロー	[114,900]

(注) マイナスは金額の前に△を付すこと

(2) 間接法

キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

営業活動によるキャッシュ・フロー

〔税引前当期純〕利益	[② 126,000]
減価償却費	[20,000]
貸倒引当金の〔増加額〕	[② 400]
〔有価証券売却益〕	[② △ 2,000]
受取利息	[△ 1,500]
社債利息	[2,100]
売上債権の〔増加〕額	[② △ 20,000]
棚卸資産の〔減少〕額	[② 18,500]
仕入債務の〔増加〕額	[② 7,000]
前払費用の〔増加〕額	[② △ 2,500]
未払費用の〔増加〕額	[② 1,400]
小 計	[149,400]
〔利息〕の受取額	[1,300]
〔利息〕の支払額	[△ 1,800]
〔法人税等〕の支払額	[△ 34,000]
営業活動によるキャッシュ・フロー	[114,900]

(注) マイナスは金額の前に△を付すこと

問題3〔予想配点：合計20点〕

問1〔予想配点：各2点〕

(1)	1	イ	2	オ	3	コ
	4	カ	5	ケ		

(2)	①	(c)	②	(a)	③	(b)
-----	---	-----	---	-----	---	-----

問2〔予想配点：各2点〕

①使用価値：資産又は資産グループの継続的使用と使用後の処分によって生ずる見込まれる将来キャッシュ・フローの現在価値をいう。
②正味売却価額：資産又は資産グループの時価から処分費用見込額を控除して算定される金額をいう。